だより

問い合わせ先

泗水図書館 **2**0968 (38) 6866 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111 内線303

閉館日・閉室日

旭志公民館図書室 日曜日・祝日

らりと変わってしま

泗水図書館 月曜日・月末・祝日 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日 七城公民館図書室 日曜日・祝日

新刊コーナーでは、話題の本や 人気の本を取り揃えています。 また、本の内容が分かりやすい ように手作りのカードを置いて いますので、本選びの際にご覧

ください。 (七城公民館図書室)

ようかい

するのは、

ヤ

クソンとオリンポスの神

Q

リック・リオーダ

シ

※図書のイベント情報は、36ページの行事予定に掲載しています。

泗水図書館

化合 ジュージュー よしもとばなな 水の透視画法 まう庸 詩の礫 子どもの育ちを支える絵本 岡田尊司 シック・マザー かしわばさまこれ葉幸子 狛犬「あ」の話 ハスの花の精

中央公民館図書室

洋 松崎 とおる **透** 葉山 0能者ミナト 1~2巻 きむらゆういち 作

七城公民館図書室

白樫の樹の下で 田中成和 フライドチキン小学校

尾木ママの「叱らない」子育て論 がっこうかっぱのイケノオイ

著 著

著

リアン チェン・ジャンホン 絵

ハッピーなお昼休み術 松田シロ 著 逆風 上・下 著 著 いつじあける 井辻朱美 著 お姫様大全

うさぎは食べごろ

青山文平 著 著

旭志公民館図書室

尾木直樹 著 山本悦子 さく

先生はパーシーをミンな先生のお気入りの生徒をつきとばし、な先生のお気入りの生徒をつきとばし、いじわる 先生はパー をといつ かい物にへかい物にへ 読んでください



先生(かいぶつ)を消してしまいます。う一人の先生から武器をもらい数学の

先生(かいぶつ)を消して

その事件から、

の運命はが

竹野七海さん (戸崎小6年)

ますが、これを読めば神話がおもしろむずかしく書いてあるところもあり く感じるようになると思います。

クロニクル千古の闇(全6巻) ミシェル・ペイヴァー 著

スタンプラリー実施中 このお話は、今から6000年前の石器時代のお話です。トラク少年が、 市内4カ所の図書館・図書室でスタ ンプラリーを実施しています。4カ所 洪水で孤児になってしまったオオカミのウルフに出会ったのは12歳の のスタンプを集めると記念品をプレ 時。旅をする中で起こる冒険が丁寧に描写されていて、はらはらしなが ら、一気に読んでしまうファンタジー小説。(泗水図書館) ゼントします。この機会に図書館めぐ りをしてみませんか。皆さんのご来館 「新・今昔物語絵本 鬼のかいぎ」 をお待ちしています。詳しくは各図書

文・立松和平 絵・よしながこうたく



昔むかし、まだ人間が鬼の姿を見ることができた時代。鬼や動物たち のよりどころだった大きな大きな木を人間が切ってしまった。怒った鬼 たちは会議を開き、人間たちに木の大切さを分からせるよう話し合う。 人間たちに鬼たちの気持ちは伝わるのか・・・。自然と人間について考え る絵本。(旭志公民館図書室)

梅雨し とど飛沫蹴散らし配達夫

は に包まれ 夏 の朝

山

よく言うよ な音 うちには私 肥 P 人て つ 高倉新米 辻

妙

とごゆ n つ は承知 ぱ無理 ん な 退職金が手切金 テ ノミの夫婦て言わるる レ ビに晒す顔じ 藤野 善教 き精無子 無

師の

家も消え夏草に風わ

たる

Þ

数恵

念んん 元気過ぎ ナメ や ん メ れて クジ クジ 白寿 何ば か ま はほ させて か せ過ぎ芽の出らん れ たんごつしとかに 中島 五女 んなこつだろか h らちゃ 吉岡 御手洗三代 三水 五女 あ か

授業へ

0)

集中そらす

9蝉の声

白く咲い

あは

れ梔子枯れにけ

邦治

藤本アツ子

節電にあ

0

手この手の涼工夫

靜子

ぞ

そ

亡き母の

小袖も共に土用干

サウナのごたる家ん中 美由

節電中

流れ来し浮草一つ早苗田に

水谷

ミネ

雨の

É

も巣作り

忙ゎ

夏燕

蓉子

七夕や未来を託す子 のあ りて 中尾ヨシコ

芳子

門前は風

の道すじ青簾

小山

照子

次の手の決まれば止まる扇子かな

梅田

光本とよいち

天心に薄雲なびき月涼し

旅プラン押し流したる男梅雨

稲田

羚子

雨あとの底紅の色新しく

弘喜 若 とく屋根上横切る一羽梅雨晴れ間まさしくジ

合唱が 植えたるト えたるトマト今年は豊作きらに程ほどにせよと言わ

賑わが らば 終わ かり 田は カ 陽子の

去りて綿雲ふ

安見

朱實

歩行練習

つの立てて何確かむる娯なり夏空まぶし空中の塵流すとふ梅雨去 涼風に木漏れ日気の青葉の縁よ くる病後の夫は 相思鳥の世話をなし せしみじみ思ふ 揺ら むる蝸牛そこは椿 つ す つ囀りに耳傾山城・雅子 若楓今日の幸 岡本 シ

それぞれ

夕

の花は露をこぼせり蝶一つ見失ひたる今 つ見失ひたる今朝 の庭き き よう 淑子

松本

巣立ちの直ぐ後なるか生け垣に止まり損ねる 損ねし か

小雀を見れば

傍らに少し太りて亡き夫が逢いに来 に来たる か野菜畑吾が 機雄

羽の燕 エ ッ

斉 ・機のご 芳子

れ ツ子 しも

はや尺余の身の駅 でと暑の畑 でと暑の畑 の畑捨てて帰らむかも **怒留湯健蓉** 家は遠景に下降す森に 影と なる

独り居に独り居の びも重くなりゆく 今朝の牛蒡田 夏の風外の屋外が が違ふ機械 散歩に背押され久々 が 材上さき江 枷夕されば足の運 ☆を操りて息もピークを操りて息もピークを表す。 片 余語やす子 菊代





21 | 広報きくち | 2011 September | 🦪

期間

します。

館(室)へお問い合わせください。

9月30日(金)まで

※ただし記念品がなくなり次第終了